

## 会場内放送業務内容

## 1 司会者による訓練の進行管理

司会者1名と訓練解説者（職員）1名による掛け合いを中心とした進行管理を行うこと。また、司会者はアナウンス技術に熟達した専門のアナウンサーが行うこと。

## 2 訓練映像及び音声の会場内放送

## (1) 映像の中継

札幌ドームアリーナ3墨側ベンチ付近に放送席（スイッチャー席、実況席、映像統括席）を設置すること。また、スイッチャー席にて4台の中継カメラ及び訓練参加団体が用意するドローンからの映像をモニタリング可能な状態にし、委託者の出す指示に従い、モニタリング中の映像を実況席、映像統括席、本部席及び札幌ドーム4階コントロールセンターに送り、関係業者と調整して札幌ドームの大型ビジョンへ中継すること。

## (2) カメラ配置

カメラは会場に4台設置し、すべての訓練をくまなく撮影できるように配置すること。なお、ブロードバンドで撮影した映像も随時中継することから、必要な設備を用意すること。4台のカメラのうち1台は定点による撮影とすること。

## (3) カメラマン

中継用カメラは、操作技術に熟達した専門のカメラマンが操作すること。

## (4) 音声の中継

札幌ドームアリーナ天井面に設置のスピーカーを使用することから、司会者の音声等が会場内に聞こえるよう、音響設定を関係業者と調整して行うこと。

## (5) ケーブルカバーの設置

訓練等の妨げにならないよう必要に応じて映像及び音声のケーブルカバーを設置すること。

## 3 上記に係る必要資器材の用意

撮影用HDカメラ（画面サイズ16：9）4台等、その他必要資器材一式を用意すること。

## 4 訓練映像

各訓練を撮影する中継用のカメラは、単体記録収録（各カメラの映像は中継するとともに、各カメラ本体内にも記録しておく）とすること。また、外部映像を入力し、大型ビジョンへ出力できる装置を用いて撮影を行うこと。